

熊本県における児童生徒の体位

本県の児童生徒の体位は、必ずしも樂觀を許されない現状にある。

児童生徒の体位を全国四十六都道府県別の順位で見ると、熊本県の場合ほぼ四十位前後、九州各県別の順位は二、三位を占めている。これは熊本県だけに限らず、九州が体位の發育について地域的に恵まれていないうえに、文化的諸条件が関東地区等にくらべ遅れていることに起因しているといえる。

昭和四十年までの約十年間における本県の身長伸びは、全国的に大きな伸びを示している年令層においては、全国平均よりやや下回っているが、全国的に伸びが少なくなりつつある高令層においては全国平均に近づきつつあったものが、最近においては、一部の年令層を除いて全国平均との差が拡がる傾向にある。

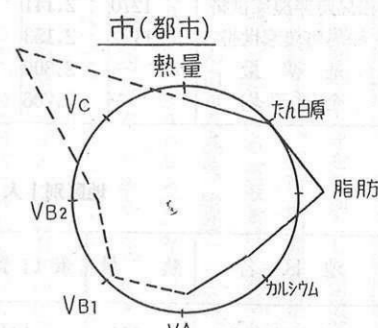
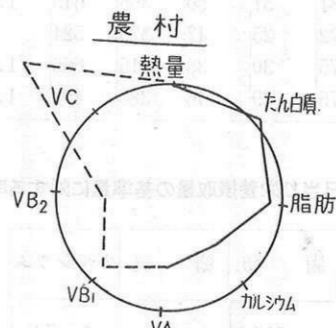
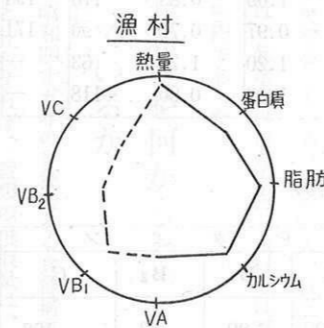
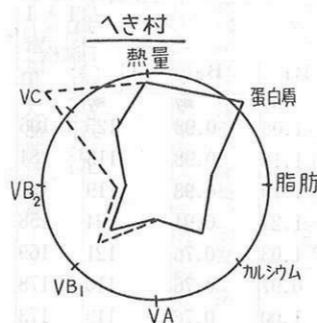
また、身長に対する胸囲や体重の割合が全国平均よりすぐれていたが、その差もほとんどなくなりつつあり、昭和四十三年度の統計から栄養の良否の

判定にも使用されるベルベック指数をみると、全国平均より下回っている。

すべての人間活動の基礎条件である本位が他県に劣るとき、近い将来においては、体力は勿論、その他のすべての能力においても劣ることが予想される。

これらの原因としては、科学的、合理的な生活様式に対する認識が、全国的にみて本県が遅れていることは否定できないが、その対策として、農村地区が多い本県の実情からみて、カロリー、蛋白質、脂肪、ビタミン等を合理的に摂取するとともに、運動と休養のバランスをとる必要が痛感される。

(体育保健課)



身体状況調査

地区名	症候別 有症者率	貧血		口角炎		毛孔性角化		けん反射		ひ腹筋		浮腫		備考
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
熊本市西坪井町	3.9	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	0	3.8	6.0	熊本市有症者率 9.2%
川尻町	11.5	1.7	2.8	0	0	0	0	1.1	4.2	1.0	1.4	0	7.8	
鹿本郡鹿央町	21.2	0	1.7	3.2	0	1.6	4.3	3.5	11.4	1.1	5.7	3.2	10.0	町村有症者率 27.0%
上益城郡益城町	60.0	0	0	10.3	5.1	10.3	13.4	42.1	42.3	19.2	5.5	0	0	
八代市北原町	18.3	1.0	1.0	0	1.6	0	1.8	19.0	12.3	6.1	10.0	1.6	1.6	
天草郡峯北町	16.3	0	0	0	2.9	3.8	4.8	0	1.9	0	1.0	2.9	16.3	
大矢野町	24.9	4.8	1.7	1.8	0	0	1.0	14.0	20.0	6.4	4.2	0	1.7	
平均比率	—	1.3	3.0	1.8	1.6	2.2	3.5	11.4	14.6	6.0	7.1	1.3	5.2	



◀◀グラビア特集▶▶

県栄養指導車「ひばり」号による巡回指導

— 天草郡河浦町にて —

健康をつくる人たち